

エコチル調査の広報及び対話事業について



エコチル調査から国民の行動変容等へつなげるために 広報戦略の方針（案）

環境省「第6回健康と環境に関する疫学調査検討会」資料4-2から抜粋

行動変容を促すターゲットとなる一般国民・消費者

将来親になる世代、妊産婦、子育て世帯等

(小学生・中学生・高校生・大学生、社会人など)



ターゲットの関心・購買行動に関心の高い製品製造企業

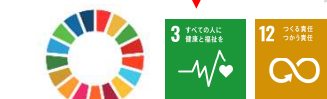
企業

ターゲットの関心に沿った購買・行動変容を促す製品表示・宣伝・代替品開発等の企業の自主的な取組を促進するための勉強会

ターゲットに対する影響力の強いインフルエンサー

医療関係者、教育関係者、行政関係者、研究者、報道関係者、YouTuber等

- ・インフルエンサーコミュニティを育てる定期ブリーフィング・オンライン勉強会
- ・ターゲットを対象とした雑誌等に連載を掲載
- ・アクセスしやすいサイトの作成
- ・インフルエンサーの独自ルートを通じた発信



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



成果の社会還元がエコチル調査参加者の高い参加率の維持に貢献

関係省庁等の政策立案者

関係省庁等

エコチル調査による科学的知見の成果と行動変容の進捗状況を報告・共有し、政策立案に向けた協力体制を構築（親子や学校に関する保健施策、健康増進施策、化学物質に関する施策等との連携（国際連携も含む。））

第11回 エコチル調査 シンポジウム

子どもの健康と環境に関する全国調査

オンライン開催



エコチル調査とは

環境中の化学物質が、子どもの健康にどのように影響するのかを明らかにし、子どもたちが安心して健やかに育つ環境をつくるために実施している調査。全国約10万組の親子が調査に参加しています。

エコチル調査 検索 <https://www.env.go.jp/chemi/ceh/>



尾木 直樹 先生



宋 美玄 先生

エコチル調査は、2022年1月で12年目に入り、全国約10万組の親子の皆さまのご協力によって、健康と環境の関係についてたくさんのご報告が寄せられました。調査によってどのようなことがわかったのか？ 今後、エコチル調査の成果によって私たちの生活が、そして子どもたちの未来がどのように変わるのか？ エコチル調査の研究者たちをはじめ、エコチル調査サポーターでいらっしゃる教育評論家の尾木先生や産婦人科医の宋先生を招いて、ともに考えていきましょう。

プログラム

(司会) 田村 あゆち (フリーアナウンサー)

- 開会挨拶** 穂坂 泰 環境大臣政務官(内閣府大臣政務官兼務)
- 調査からのお知らせ** 田中 桜 環境省大臣官房環境保健部環境安全課環境リスク評価室長
- 講演 1** (13:40~14:20) **エコチル調査研究成果紹介**
森崎 菜穂 先生 エコチル調査九州大学サブユニットセンター
土屋 恭一郎 先生 エコチル調査甲信ユニットセンター
上島 通浩 先生 エコチル調査運営委員会委員長 ほか
- 講演 2** (14:20~14:50) **未来を生きる子どもたちの現状と課題 ~エコチル調査から考える~**
尾木 直樹 先生 教育評論家・法政大学名誉教授・臨床教育研究所「虹」所長
- パネルディスカッション** (15:00~15:55) **私たちの健康と環境 -エコチル調査によって子どもたちの未来がどのように変わるのか？-**
◎コーディネーター 山縣 然太郎 先生 エコチル調査報道広報委員会委員長
◎パネリスト(五十音順)
尾木 直樹 先生 教育評論家・法政大学名誉教授・臨床教育研究所「虹」所長
産婦人科医 医学博士・性科学者
宋 美玄 先生 エコチル調査メディカルサポートセンター長
大矢 幸弘 先生 エコチル調査運営委員会委員長
上島 通浩 先生 国立環境研究所エコチル調査コアセンター次長
中山 祥嗣 先生 国立環境研究所エコチル調査コアセンター長
山崎 新 先生 国立環境研究所エコチル調査コアセンター長
- 閉会挨拶** 神ノ田 昌博 環境省大臣官房環境保健部室長

日時

2022年

2月20日(日)
13:30~16:00(予定)

オンライン開催(ライブ配信)
事前申込不要・参加無料



◎YouTubeライブ
<https://youtu.be/JvmxOcrRt6E>

◎視聴者アンケート
<https://env-ecochil.com>



◎アンケート受付期間
受付開始▷2月20日(日)シンポジウム当日
受付終了▷2月28日(月)12:00まで

お問合せ

第11回 エコチル調査シンポジウム事務局
(株式会社オーエムシー内 担当:宋美玄/近藤)
TEL▷03-5362-0117
MAIL▷ecochil_sympo@omc.co.jp

※本シンポジウムは、環境省からの業務委託により株式会社オーエムシーが事務局を務めております。

登壇者プロフィール



尾木 直樹 先生

教育評論家・法政大学名誉教授・臨床教育研究所「虹」所長

講演者/パネリスト(ゲスト)

1947年滋賀県生まれ。早稲田大学卒業後、私立海城高校、東京都立中学校教師として、22年間ユニークで創造的な教育実践を展開。その後22年間大学教育に携わり、合計44年間教壇に立つ。2004年に法政大学キャリアデザイン学部教授に就任。2012年4月法政大学教職課程センター長・教授、定年退官後、現在は法政大学名誉教授、フジテレビ「ホンマでっか!?TV」、Eテレ「ウサの保護者会」などの多数の情報・バラエティ・教養番組にも出演。「尾木ママ」の愛称で幼児からお年寄りまで親しまれている。



宋 美玄 先生

ウィメンズヘルスリテラシー協会 代表理事、日本ガスクアプロシー協会 代表理事、丸の内森レディースクリニック院長、産婦人科医 医学博士・性科学者、日本産婦科 新生児学会会員、日本性科学会会員

パネリスト(ゲスト)

1976年兵庫県神戸市生まれ。大阪大学医学部医学科卒業後、大阪大学医学部附属病院、りんくう総合医療センターなどを経て川崎医科大学講師に就任する。2009年ロンドンのFetal Medicine Foundationへ留学し、胎児超音波の研鑽を積む。帰国後、川崎医科大学医学研究科博士課程卒業。現在は、丸の内森レディースクリニックの院長として周産期医療、女性医療に従事する傍ら、テレビ、インターネット、雑誌、書籍で情報発信を行う。産婦人科医の視点から社会問題の解決、ヘルスリテラシーの向上を目的とし活動中。

山縣 然太郎 先生

エコチル調査甲信ユニットセンター長
参加者コミュニケーション専門委員会委員長、戦略広報委員会委員長
山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座教授

コーディネーター

専門は公衆衛生学、疫学、人類遺伝学、社会医学系専門医・指導医。地域で33年間に及ぶ出生コホート研究、18年間継続中の高齢者コホート研究を実施中。研究がバナンス、先端科学と社会との接点も研究テーマ。山梨医科大学卒業。米国カリフォルニア大学アーバイン校(UC)小児科医学講座留学などを経て現職。成育基本法の成育医療等協議会副産長など国の各種委員。「研究は住民に始まり住民に終わる」がモットー。

大矢 幸弘 先生

エコチル調査メディカルサポートセンター長
国立成育医療センターアレルギーセンター長

パネリスト

小児科医でアレルギーが専門。疫学や行動医学を研究と診療に応用している。エコチル調査の質問票や医学的検査の開発を行うメディカルサポートセンターを率いている。名古屋大学医学部卒業、同小児科、国立名古屋病院小児科、国立小児病院アレルギー科、国立成育医療センターの初代アレルギー科医長を経て、現職。

上島 通浩 先生

エコチル調査愛知ユニットセンター長
エコチル調査運営委員会委員長
名古屋市立大学大学院医学研究科環境労働衛生学教授

講演者/パネリスト

専門は衛生学。化学物質による健康リスクの解明をテーマに研究を行っている。エコチル調査では愛知ユニットセンター長、エコチル調査運営委員会委員長を、また、他に環境省中央環境審議会専門委員等も務める。東北大学医学部を卒業後、米国カリフォルニア大学バークレー校自然資源学部環境科学政策管理理学講座客員研究員、名古屋大学大学院医学研究科環境労働衛生学准教授などを経て、現職。

中山 祥嗣 先生

国立環境研究所エコチル調査コアセンター次長

パネリスト

岡山大学医学部、大学院医学研究科卒業。専門は公衆衛生、環境保健、毒物学。社会医学系専門医・指導医。2005年U.S. Environmental Protection Agency: EPAの招聘を受け、以降6年間、EPAで新規汚染物質の曝露評価およびリスク管理に携わる。2011年より国立環境研究所。エコチル調査を環境医学の面から支えるたかわら、毒物学に関してEPAやEU、アジア諸国との共同研究を進めている。筑波大学大学院客員教授、聖路加国際大学連携大学院教授。

山崎 新 先生

国立環境研究所エコチル調査コアセンター長

パネリスト

エコチル調査全体の運営を行うコアセンター長。エコチル調査の研究計画の調整や実施上の様々な課題の解決に日々尽力している。誤謬は欠かせない。長く大気汚染の疫学研究にたずさわる。京都大学工学部衛生工学科卒業。京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻准教授、国立環境研究所環境疫学研究室長、同環境リスク・健康研究センター副センター長を経て、現職。

令和3年度エコチル調査に係る「地域の子育て世代との対話」業務

【目的】

子育てに関わる関係者が化学物質のリスクについて対話し、寄り添い支え合う環境を作る、いわゆるリスクコミュニケーションを行うことにより、化学物質のリスクについて向き合うことが可能な機会が広がり、上手に向き合うことが可能となる社会を目指す。

(1) 化学物質に関する基礎資料の更新作業

- エコチル調査に係る化学物質やその健康影響の一般的な内容や、エコチル調査の研究成果をわかりやすく伝えるQ&A、パンフレット等の「**基礎資料案**」の更新。

(2) 地域における対話の実践例の創出

- 地域での**双方向性の対話**の実践を通じ、子育て世代等と化学物質のリスクとの上手な向き合い方の実践活動を促進。

(3) 好事例集の作成

- 効果的な地域対話の取組の横展開に資する**事例集**をまとめる。

(4) 対話事業関連情報の周知

3/4(金)実施 ※3

- 対話事業関連資料等の周知のため、イベント（対話事業関連資料等の内容の**インフルエンサーとなる分野の専門家やメディアなどを対象とした勉強会**等）を開催。

(5) 対話事業に関する研修手法の開発

3/18(金)実施予定

- ユニットセンター担当者に対する**リスクコミュニケーション研修**の開催。
- 教育関係者等に対する研修資料の作成。

■ 今年度実施した対話

日程	場所 (参加人数)	対象 (分野)	講師等 (敬称略)
11/25 (木)	慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス (12)	大学生 (政策デザイン)	宋美玄(産婦人科医) なーちゃん(YouTuber) 中山祥嗣(国環研) 塚原沙智子(慶應大)
12/17 (金)	新潟大学大学院(17)	大学院生 (食品)	堀口逸子(東京理科大) 岩崎茜(国環研)
1/21 (金)	鳥取大学(18)	一般市民	増本年男(鳥取大) 竹原健二(国立成育医療研究センター) 山田祐子(鳥取大)
1/28 (金)	東京(5)	企業 (出産・育児) ※1	山崎新(国環研) 目澤秀俊(国立成育医療研究センター)
2/24 (木)	東京(13)	企業 (食品) ※2	堀口逸子(東京理科大) 山崎新(国環研) 中山祥嗣(国環研)

※いずれもオンライン、もしくはハイブリッド(対面+オンライン)で実施

令和3年度対話事業の参加企業等一覧 (五十音順)

(2) 地域における対話の実践例の創出

※1 対話の実践 1/28(金)

<対象：企業(出産・育児関連)>

- ・株式会社Kids public
- ・株式会社ニッセイ基礎研究所
- ・株式会社ファーストアセント
- ・株式会社ワークシフト研究所

※2 対話の実践 2/24(金)

<対象：企業(食品関連)>

「食品産業問題研究会」(一般財団法人食品産業センター主催)参加の食品関連会社13社

(4) 対話事業関連情報の周知

※3 勉強会 3/4(金)

<対象：インフルエンサーとなる分野の専門家等>

- ・一般社団法人女性の健康推進協会
- ・株式会社ニッセイ基礎研究所
- ・NPO法人妊婦のくらし
- ・NPO法人ファザーリング・ジャパン
- ・ミキハウス子育て総研株式会社

エコチル調査戦略広報委員会と「地域の子育て世代との対話」検討会について

エコチル調査戦略広報委員会

委員一覧

(五十音順、敬称略)

山縣然太郎	山梨大学 大学院総合研究部医学域 社会医学講座 教授 <委員長>
江守 正多	国立環境研究所 社会対話・協働推進オフィス代表 (国立環境研究所 地球システム領域/副領域長)
大矢 幸弘	国立成育医療研究センター アレルギーセンター長 エコチル調査メディカルサポートセンター長
小越 久美子	NHKグローバルメディアサービス国際番組部 ディレクター
長谷川 聖治	読売新聞 東京本社 総務局 兼 よみうりコンピュータ取締役副社長
船木 成記	一般社団法人つながりのデザイン代表理事
堀口 逸子	東京理科大学薬学部 医療薬学教育研究支援センター 教授
森田 由子	日本科学未来館 事業部 経営戦略室 科学コミュニケーション専門主任
山崎 新	国立環境研究所 エコチル調査コアセンター長

スケジュール

- 令和3年11月24日 第1回委員会 開催
- 令和4年3月14日 第2回委員会 開催(予定)

「地域の子育て世代との対話」検討会

委員一覧

(五十音順、敬称略)

堀口 逸子	東京理科大学薬学部 医療薬学教育研究支援センター 教授 <座長>
金谷 久美子	京都大学大学院医学研究科 研究員
鎌田 久美子	公益社団法人 日本看護協会
河村 真紀子	主婦連合会 会長
鬼頭 英明	法政大学 スポーツ健康学部 教授
崎田 裕子	環境カウンセラー (中央環境審議会環境保健部会 委員)
須方 督夫	一般社団法人 日本化学工業協会 化学品管理部 部長
寺沢 弘子	化学物質アドバイザー
仲井 邦彦	東海学園大学 スポーツ健康科学部 教授
長野 伸彦	公益社団法人 日本小児科学会
奈良 由美子	放送大学教養学部 教授
長谷川 聖治	読売新聞 東京本社 総務局 兼 よみうりコンピュータ取締役副社長
松永 和紀	科学ジャーナリスト (中央環境審議会環境保健部会 委員)
松本 吉郎	日本医師会 常任理事
松尾 剛	北九州市 環境局環境監視課 環境局 環境監視課長
目時 弘仁	公益社団法人 日本産科婦人科学会
森田 由子	日本科学未来館 事業部 経営戦略室 科学コミュニケーション専門主任

スケジュール

- 令和3年12月27日 第1回検討会 開催
- 令和4年3月16日 第2回検討会 開催(予定)